

第5回領域シンポジウム 「表現の未来へ」

ーデジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術ー

日時： 2011年11月16日（水）10:00より
場所： アキバホール（富士ソフト秋葉原ビル）
東京都千代田区練堀町3 （map参照）
主催： 独立行政法人 科学技術振興機構

挨拶

デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術の創出を目指して2004年より研究をはじめました。情報科学という技術とメディア芸術という文化を融合した新しい作品を、サイエンティストとクリエイターがともに先進的・革新的な表現手法や基盤技術をつくり出すことを目標に研究を進めています。当領域では、チーム型研究 CREST では12、個人型研究さきがけでは16のテーマについて研究が行われています。

今回のシンポジウムでは、これまでの7年間の研究成果を報告します。CREST 4テーマについての終了報告を、領域活動についての報告を行います。また、合わせて領域における研究内容については、ポスターにて発表をします。

この機会に、当領域の研究活動についての一層のご理解をいただき、合わせて様々な観点からの皆様のご意見を広くいただければ、今後の研究に反映し、更に研究を進展させていきたいと存じます。是非皆様のご参加をお願い申し上げます。

参加費：無料（研究交流会参加者は会費4,000円予定）

申込み方法：参加ご希望の方は、研究交流会の出欠を含め、ご氏名、ご所属、連絡先、メールアドレスなどを領域ホームページより記入のうえ申込みください。（ホームページは10月上旬より申込み可能です）

連絡先：独立行政法人 科学技術振興機構

「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域

領域参事 稲垣 正久

〒113-0033 東京都文京区本郷4-2-8 フローラビル6F

TEL 03-5805-1081 FAX 03-5805-1080

E-mail inagaki@media.jst.go.jp <http://www.media.go.jp/>

プログラム (予定)

- 10:00～10:10 開会挨拶
原島 博 (東京大学 名誉教授)
- 10:10～10:40 超高精細映像と生命的立体造形が反応する新伝統芸能空間の創出技術
河口洋一郎 (東京大学大学院情報学環 教授)
- 10:40～11:10 自由空間に3次元コンテンツを描き出す技術
斉藤英雄 (慶應義塾大学理工学部情報工学科 教授)
- 11:10～11:40 情報デザインによる市民芸術創出プラットフォームの構築
須永剛司 (多摩美術大学美術学部 情報デザイン学科 教授)
- 11:40～12:10 人を引き込む身体性メディア場の生成・制御技術
渡辺 富夫 (岡山県立大学情報工学部 教授)
- 12:10～13:00 昼食休憩
- 13:00～14:30 ポスターセッション
- 15:00～16:30 講演会 「題未定」
原島 博 (東京大学名誉教授、「デジタルメディア領域」研究総括)
- 16:30～17:30 討論会 「題未定」
デジタルメディア研究領域アドバイザーによる
- 17:30～17:40 閉会挨拶 科学技術振興機構
- 18:00～20:00 研究者交流会

マップ



住所

〒101-0022

東京都千代田区神田練堀町3

富士ソフト秋葉原ビル

TEL : 03-5209-6285

FAX : 03-5209-5261

秋葉原駅からの所要時間

秋葉原駅 ・ JR 線

中央改札口より徒歩 2 分

A3 改札口より徒歩 1 分 秋葉原駅 ・ つくばエクスプレス線

秋葉原駅 ・ 東京メトロ日比谷線

2 番出口より徒歩 3 分

<お車でお越しの方>

地下に 132 台収容の富士ソフト駐車場を完備しております。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pmo.co.jp/pnavi/akihabara-fuji/>